

デジタル変革通信 VOL.3

～オープンデータって何?? その2～

発行日：令和3年6月29日（火）



前回※はオープンデータの概要を教えてくださいましたので、今回は活用事例を教えてください！

※前回通信のURLを一番下に掲載します。

了解！市民らが、オープンデータを活用して開発したアプリを2つ紹介するにや。まずは鯖江市のバスモニターから。



活用事例①：鯖江バスモニター

<概要>

鯖江市では冬季に市営バスが遅れることが多く、その都度、市への苦情が数多く寄せられていたため、市営バスにGPS機器を搭載し、リアルタイム位置情報をオープンデータとして公開することにした。オープンデータ伝道師の福野泰介氏が該当データを利用し、リアルタイムバス位置を地図上に表示するアプリを開発した。

<利用するオープンデータ>

市営バスリアルタイム位置情報 等

<導入後の効果>

市民がスマホ等からリアルタイムのバス運行情報を確認できるようになり、冬季に降雪等でバスが遅れる場合でも市民からの苦情は減り、市の負担が軽減された。

●一割程度の運休のお知らせ●
高年大学の休学期間に伴い、神明駅⇨高年大学の直通便である片上・北中山線の第2便・第5便・第7便、河和田線第4便を運休いたします。
運休の期間については、つきのとおりです。
【運休期間】令和3年8月31日(火)まで(予定)



参考：政府CIOポータル オープンデータ100、鯖江市HP



バスを待っていて到着予定時刻を過ぎても来ない時には、ハラハラするよね。すぐに来ないと分かったら、別の手段を検討・決断できるね。

次は長野市のオープンデータの活用事例にやー。



活用事例②：ごみ Navi for 長野

<概要>

平成28年度に信州大学経済学部の学生から、「地域のために何か役立つことがしたい！」と善意の申し入れがあり、ごみアプリを作成、提供いただいた。当アプリにて、住んでいる地区のごみ収集日や、ごみの分別・出し方に関する情報を確認できる。

<利用するオープンデータ>

- ・ごみ収集カレンダー
- ・ごみ分別辞典

<導入後の効果>

ごみの出し方に関する情報をスマホから簡単に確認することができるようになった。



参考：長野市HP



なるほど！オープンデータって様々で有用な使い方がされているんだね！

でしょでしょ！分かってもらって嬉しいにや。



総務部情報政策課
デジタル行政推進室
担当：中村、小山
直通：224-7506
(内線2188)